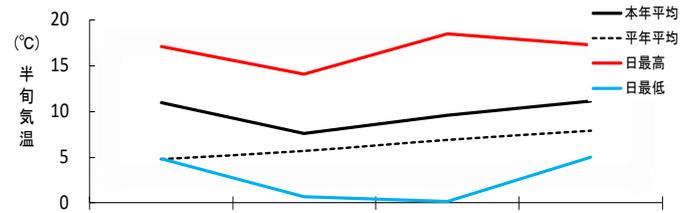


令和4年播種（令和5年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔4月10日調査結果〕

1. 気象概況〔3月下旬～4月上旬〕(図1)

- ・平均気温は、平年より高く推移した。
- ・降水量は、3月第6半旬が平年より多く、4月第1半旬は平年より少なかった。
- ・日照時間は、3月第6半旬～4月第1半旬は平年より長かった。



2. 生育概況

1) 4月10日現在の生育状況（表1）

10月中旬播種区

- ・草丈は、大麦・小麦ともに平年より長かった。
- ・茎数は、大麦が平年並、小麦は平年並～やや少なかった。
- ・葉数は、大麦・小麦ともに平年より多かった。
- ・生育ステージが進んだことで、有効茎が確保される時期も早くなっているため、茎数は平年並～やや少なくなっている。

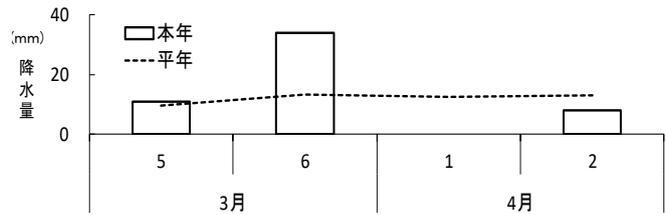
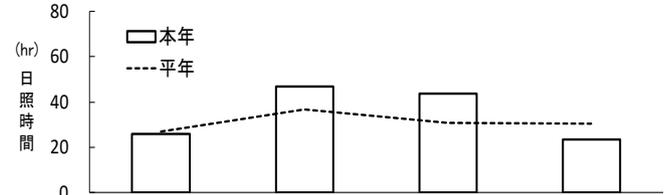


図1 気象経過 古川アメダス

10月下旬播種区

- ・草丈は、大麦・小麦ともに平年より長かった。
- ・茎数は、大麦・小麦ともに平年並～やや少なかった。
- ・葉数は、大麦・小麦ともに平年より多かった。
- ・生育ステージが進んだことで、10月中旬播種区同様、茎数は平年並～やや少なくなっている。

2) 幼穂長、幼穂分化程度及び出穂期・開花期予測（表2、3）

10月中旬播種区

- ・大麦の幼穂長は、平年より長く、生育ステージは平年より早く経過しており、シュンライは4/5に減数分裂期を迎えた。出穂期は4/18～21、開花期は4/27～28と予測される。
- ・小麦の幼穂長は、平年より長く、生育ステージは平年よりも早く経過している。出穂期は4/28～29、開花期は5/9～11と予測される。

10月下旬播種区

- ・大麦の幼穂長は、平年より長く、生育ステージは平年よりも早く経過している。出穂期は4/22～26、開花期は4/29～5/2と予測される。
- ・小麦の幼穂長は、平年より長く、生育ステージは平年よりも早く経過している。出穂期は4/30～5/1、開花期は5/11～13と予測される。

3. 栽培管理の状況

- ・3月下旬に小麦の下旬播種区で幼穂形成期の追肥を実施した。
- ・4月上旬に大麦の下旬播種区で減数分裂期の追肥を実施した。
- ・3月下旬にハーモニー75DF水和剤を散布した。

表1 生育状況

品種	区別	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(枚)			
		本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年差	平年差	
大麦	シュンライ	中旬播種区	43.7	243	140	734	94	101	11.2	+3.3	+1.4
		下旬播種区	37.3	154	166	683	114	92	10.4	+3.0	+2.2
	ミノリムギ	中旬播種区	45.5	225	158	820	94	95	11.6	+3.6	+1.6
		下旬播種区	36.4	179	167	749	110	98	10.3	+2.6	+2.0
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	35.0	272	123	737	104	98	10.4	+2.7	+1.3
		下旬播種区	37.9	202	177	761	87	89	9.8	+2.6	+1.9
	夏黄金	中旬播種区	34.8	231	142	744	85	84	9.8	+2.4	+0.8
		下旬播種区	33.6	215	172	768	100	102	9.1	+2.3	+1.5

注1) 中旬播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。
 注2) 「夏黄金」の中旬播種区は平成28年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。
 注3) 下旬播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

表2 幼穂長及び幼穂分化程度

品種	区別	幼穂長(mm)			幼穂分化程度	茎立期			減数分裂期			
		本年	前年差	平年差		本年(月日)	前年(月日)	平年(月日)	本年(月日)	前年(月日)	平年(月日)	
大麦	シュンライ	中旬播種区	35.4	+26.2	+21.1	X	3/20	4/4	3/28	4/5	4/16	4/16
		下旬播種区	22.7	+17.1	+16.5	X	3/23	4/12	4/7	4/13	4/22	4/20
	ミノリムギ	中旬播種区	29.0	+22.3	+18.7	X	3/21	4/8	3/30	4/11	4/23	4/20
		下旬播種区	17.4	+13.8	+12.3	X	3/24	4/13	4/8	4/16	4/24	4/23
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	13.4	+10.6	+8.9	X	3/23	4/9	4/4	4/18	4/26	4/26
		下旬播種区	10.1	+7.2	+7.1	X	3/26	4/13	4/12	4/21	4/27	4/28
	夏黄金	中旬播種区	14.6	+12.0	+9.5	X	3/26	4/12	4/7	4/18	4/27	4/27
		下旬播種区	9.9	+7.0	+6.6	X	3/30	4/13	4/12	4/21	4/29	4/28

注1) 中旬播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。
 注2) 「夏黄金」の中旬播種区は平成28年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。
 注3) 下旬播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。
 注4) 茎立期: 主穂長が20mmに達した日。
 注5) 減数分裂期: 幼穂長が30mmに達した日。

【参考】麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期			穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0

注1) 幼穂分化程度はI~Xの10期に分類されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。
 注2) 厳密にはVII期は前期と後期に、IX期は前期、中期、後期に区分される。

表3 減数分裂期、出穂期及び開花期の本年予測値

品種名	区分	減数分裂期			出穂期			開花期		
		予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)
大	シュンライ 中甸播種区	4/5	4/16	4/16	4/18	4/27	4/25	4/27	5/4	5/2
	下甸播種区	4/13	4/22	4/20	4/22	5/1	5/1	4/29	5/6	5/8
麦	ミノリムギ 中甸播種区	4/11	4/23	4/20	4/21	5/1	4/29	4/28	5/5	5/5
	下甸播種区	4/16	4/24	4/23	4/26	5/4	5/5	5/2	5/7	5/10
小	シラネコムギ 中甸播種区	4/18	4/26	4/26	4/29	5/7	5/5	5/11	5/15	5/15
	下甸播種区	4/20	4/27	4/28	5/1	5/8	5/9	5/13	5/18	5/18
麦	夏黄金 中甸播種区	4/18	4/27	4/27	4/28	5/8	5/6	5/9	5/15	5/15
	下甸播種区	4/21	4/29	4/28	4/30	5/9	5/8	5/11	5/17	5/17

- 注1) 中甸播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。
 注2) 「夏黄金」の中甸播種区は平成28年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。
 注3) 下甸播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。
 注4) 減数分裂期: 幼穂長が30mmに達した日。
 注5) 出穂期: 全茎の40~50%が出穂した日。
 注6) 開花期: 全穂数の40~50%が開花した日。
 注7) 予測値は予測シート ver4.0を用いた値。
 注8) 「シュンライ」、「ミノリムギ」の中甸播種区の減数分裂期は実測値。

令和4年播種（令和5年産）麦類生育調査ほ生育状況〔4月10日調査結果〕

表4 麦類生育調査ほ 生育状況

担当普及センター	品種	実施場所	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
			本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年差	平年差
大河原	シュンライ	柴田郡大河原町	49.1	202	198	695	74	96	17.6	+11.7	+7.0
	ホワイトファイバー	柴田郡大河原町	41.0	143	—	455	61	—	15.8	+6.4	—
仙台	シュンライ	仙台市宮城野区	60.1	—	—	445	—	—	45.6	—	—
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	38.0	221	171	936	62	90	11.7	+9.5	+9.2
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	30.0	286	126	794	248	82	5.2	+4.1	+3.0
	夏黄金	遠田郡涌谷町	27.7	227	129	784	101	81	4.0	+2.3	+1.0
登米	あおばの恋	登米市豊里町	44.8	177	—	758	121	—	15.3	+11.6	—
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	59.6	178	192	707	70	97	36.4	+14.3	+23.9
	ミノリムギ	石巻市桃生町	51.1	186	180	964	116	158	22.2	+18.0	+17.3
	シラネコムギ	石巻市桃生町	44.5	175	198	1505	136	185	6.0	+3.4	+4.2

注1) 平年値は、過去7か年中の値から、最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注2) 大河原町「ホワイトファイバー」は、令和元年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。

注3) 仙台市「シュンライ」は、令和4年播種から調査のため、平年値・前年値(比・差)はない。

注4) 登米市「あおばの恋」は、平成28年播種から調査のため、平年値(比・差)がない。

<生育調査ほの状況等>

大河原 「シュンライ」、「ホワイトファイバー」

- ・2月下旬以降、高温傾向が続いており、生育が早まる傾向が続いており、出穂期は4/23～24頃と予想される。減数分裂期間近になり、生育量も大きくなってきたが、葉色が維持され地力吸収が順調と思われる。
- ・3月下旬以降も、高温傾向が続き、適度な降水もあったことから、大麦生育は旺盛になり、やや早まる傾向が見られる。目立った湿害は見られていない。

仙台 「シュンライ」

- ・3月以降平年に比べて気温が高い日が続いており、生育が早くなっている。
- ・減数分裂期は4/7、穂揃期は4/12であった。

大崎 「シラネコムギ」

- ・3月第5半旬から4月第2半旬にかけて高温の傾向であった。3月下旬は平年より多雨であったが、4月は少雨で推移した。
- ・4月10日現在の生育量は、草丈が38.0cm、茎数が936本/m²となっている。
- ・幼穂長は11.7mmで、過去10年で1番生育が進んでいる。
- ・減数分裂期は4/21頃、出穂期は5/1日頃と予測される。

美里 「シラネコムギ」、「夏黄金」

「シラネコムギ」

- ・下葉に鳥害の跡があり、また鳥害等の影響と思われる下葉枯れがみられるが、新葉は順調に生育している。
- ・幼穂形成始期は3/24頃と推定。

「夏黄金」

- ・生育は斉一で、特に障害等は見られなかった。
- ・幼穂形成始期は3/26頃と推定。

登米 「あおばの恋」

- ・ 茎立期は 3/29 と推定される。節間の伸長が著しい。
- ・ ハコベ類の雑草が散見。

石巻 「シュンライ」、「ミノリムギ」、「シラネコムギ」

- ・ 平均気温は、3月（平年差+3.3℃）、4月上旬（平年差：+2.9℃）は共に平年より高く経過した。日照時間は、3月（平年比 103%）、4月上旬（平年比 105%）は共に平年並みだった。降水量は、3月は平年並み（平年比 98%）、4月上旬は平年よりやや少なかった（平年比 76%）。
- ・ すべての調査ほで生育が早く、生育ステージも平年より早く推移している。
- ・ 「シュンライ」：草丈 59.6cm、茎数 707 本/m²、幼穂長 36.4mm。
幼形期 2/10、茎立期 3/10、減分期 4/5 頃だと予想される。生育調査ほでは 1~2%ほどが出穂しており、草丈に対する生育ステージの進展が早すぎるように感じる（4/10 現在）。
- ・ 「ミノリムギ」：草丈 51.1cm、茎数 964 本/m²、幼穂長 22.2mm。
幼形期 3/20、茎立期 3/22 頃だと予想される。
- ・ 「シラネコムギ」：草丈 44.5cm、茎数 1505 本/m²、幼穂長 6.0mm。
幼形期 4/3、茎立期 4/5 頃だと予想される。
石巻管内では、既に幼穂長が 20~30mm に達して減分期追肥を今週中に行っている生産者も多い（4/10 現在）。